

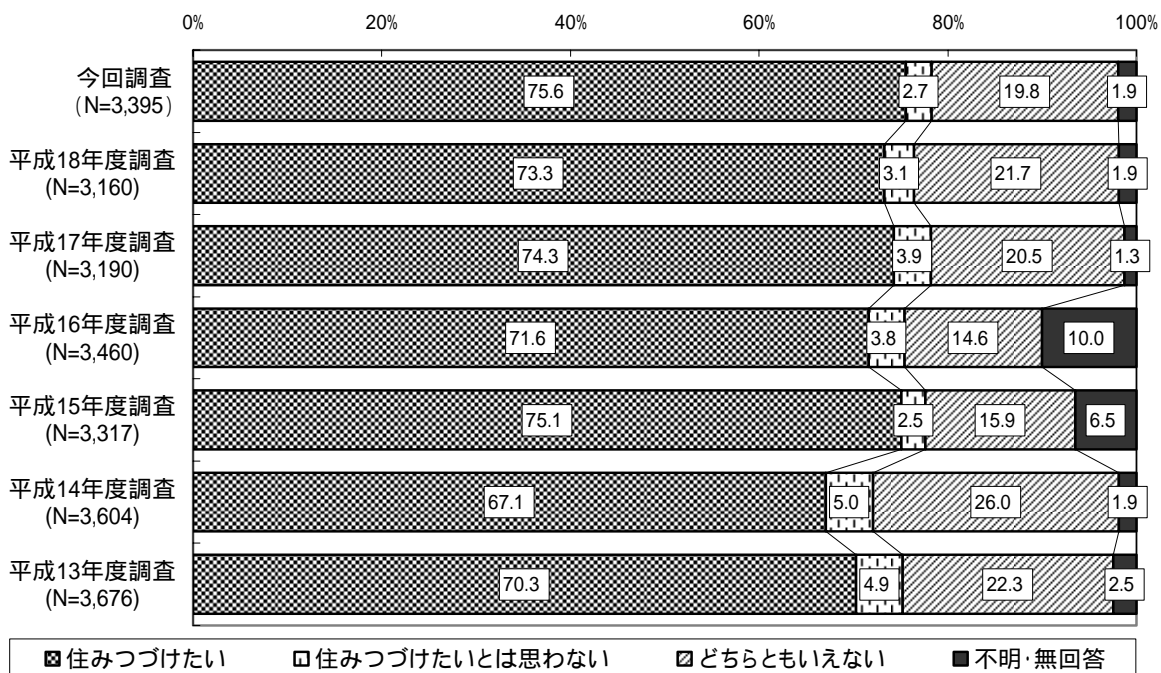
1. 県政全体に関する満足度

(1) 定住傾向

問5 あなたはこれからも滋賀県に住みつづけたいと思いますか。(は1つだけ)

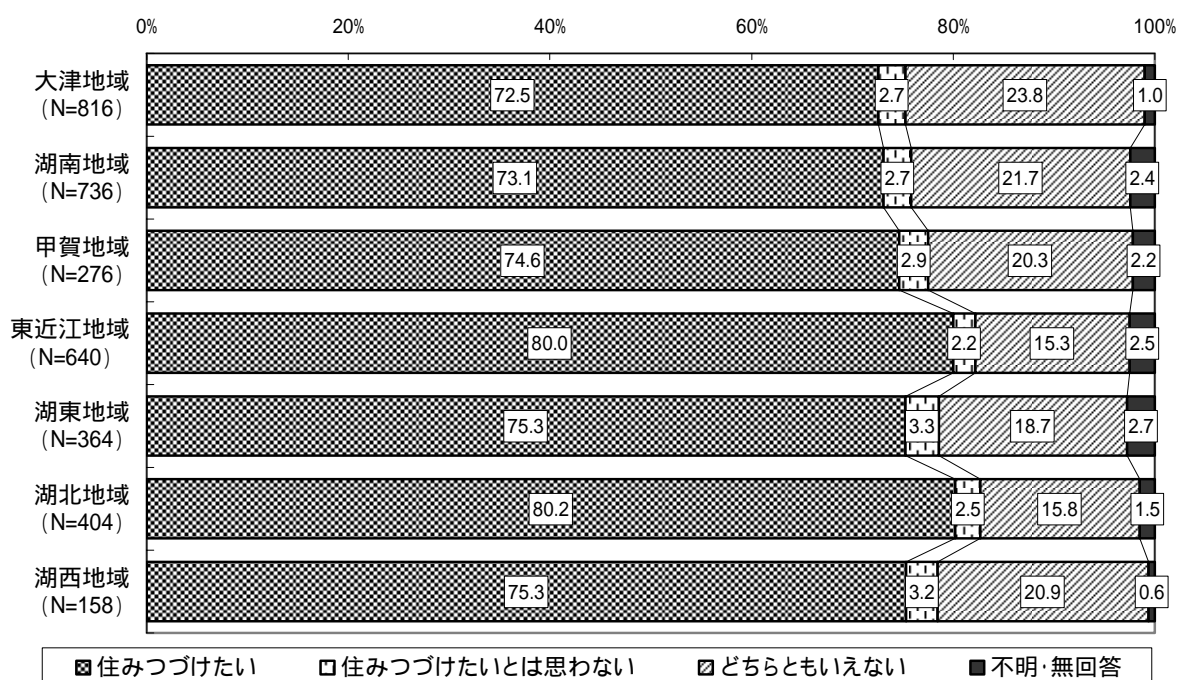
「住みつづけたい」は全体の75.6%

「住みつづけたい」が75.6%で最も多く、平成18年度調査に比べると2.3ポイント高くなっている。「住みつづけたいと思わない」は2.7%で、平成18年度調査に比べると0.4ポイント低くなっている。また、「どちらともいえない」は19.8%で、平成18年度調査に比べると1.9ポイント低くなっている。



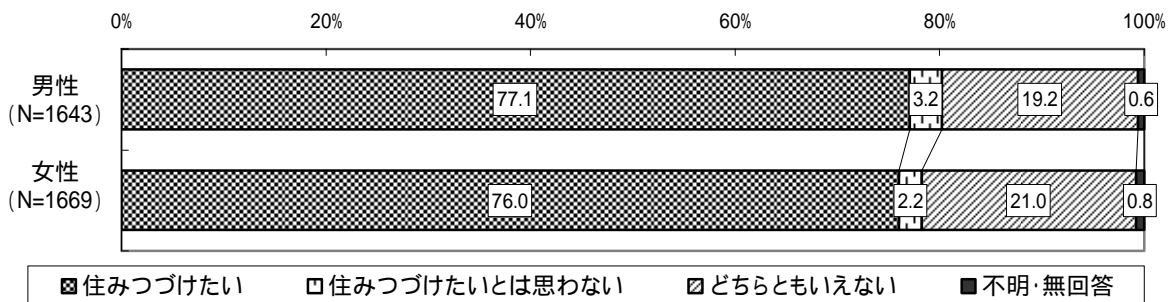
【地域別】

いずれの地域においても「住みつづけたい」が7割を超えており、なかでも湖北地域が80.2%で最も高く、次いで僅差で東近江地域の80.0%となっている。



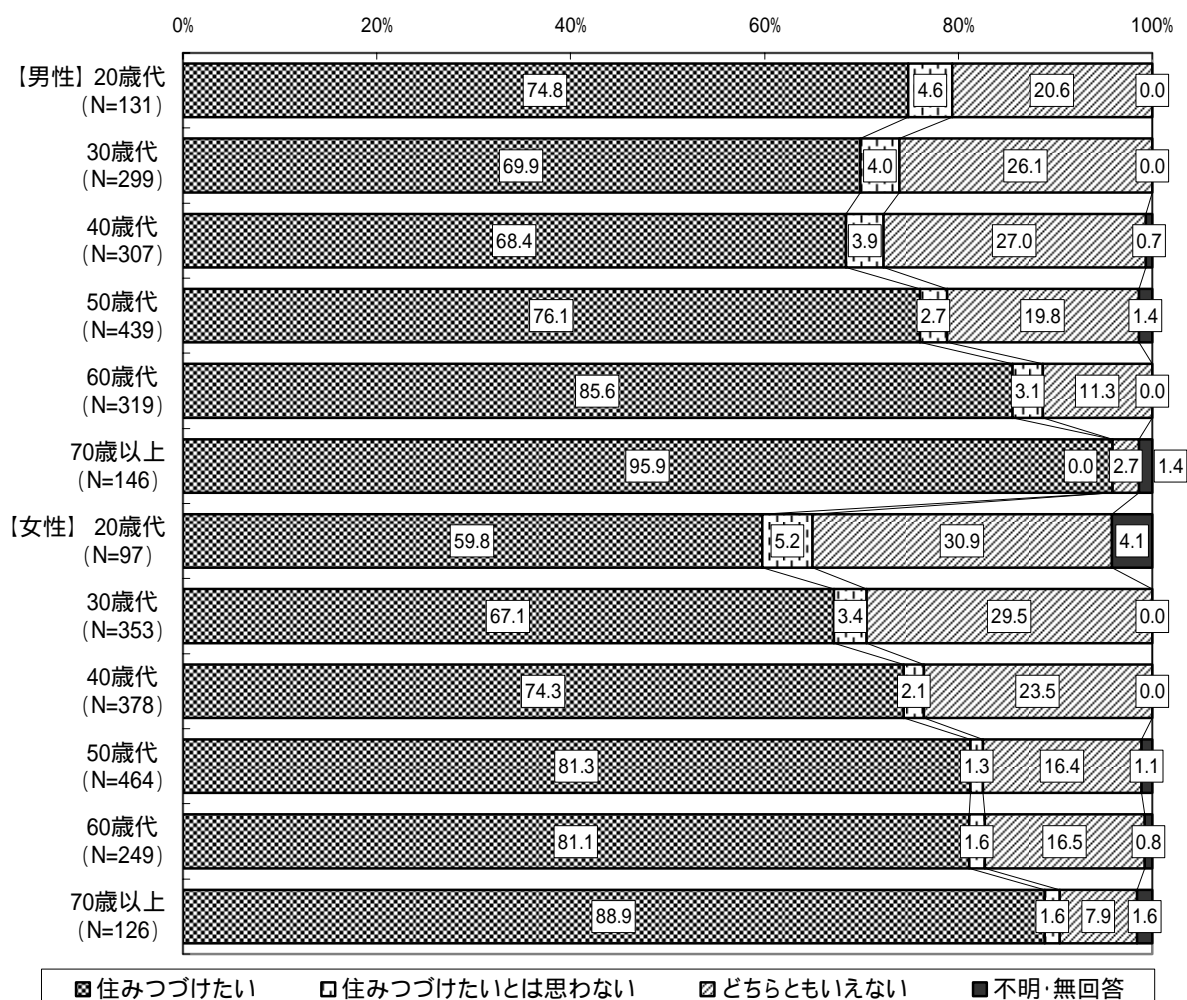
【性別】

男女とも「住みつづけたい」が最も多く、男性 77.1%、女性 76.0%となっている。



【性・年代別】

「住みつづけたい」は女性においては年代が高くなるにつれ割合も高くなっているが、男性では 20 歳代が 74.8%、30・40 歳代はそれぞれ 69.9%、68.4%となっている。70 歳以上では、男性が 95.9%、女性が 88.9%となっている。



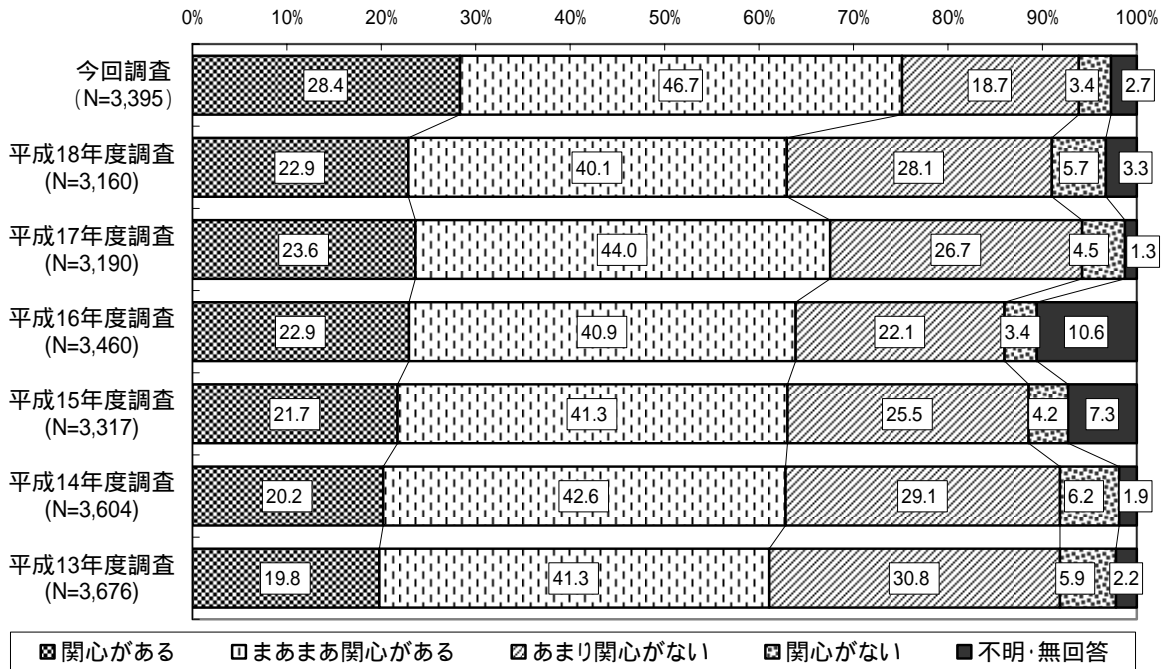
(2) 県政への関心度

問6 あなたは、県政に関心をお持ちですか。(は1つだけ)

県政への関心度は75.1%

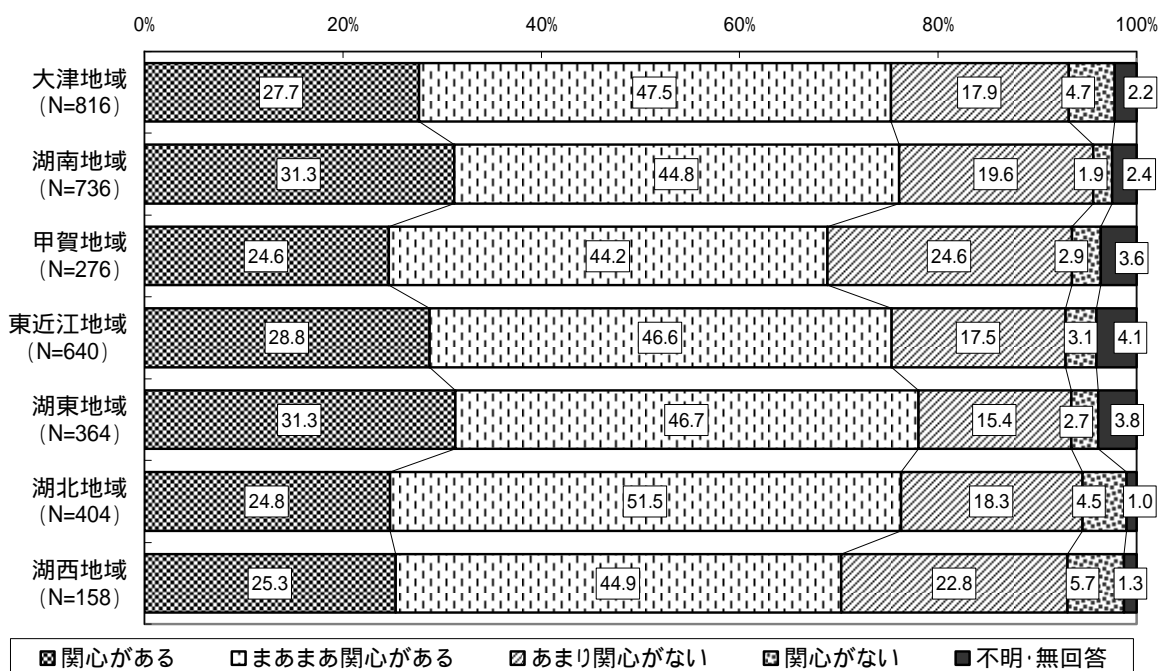
県政への関心度は、「関心がある」は28.4%、「まあまあ関心がある」は46.7%となっている。「関心がある」(「関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計)は75.1%となり、「関心がない」(「あまり関心がない」と「関心がない」の合計)は全体22.1%となっている。

平成18年度調査と比較すると、「関心がある」は12.1ポイント高くなっており、「関心がない」は11.7ポイント低くなっている。



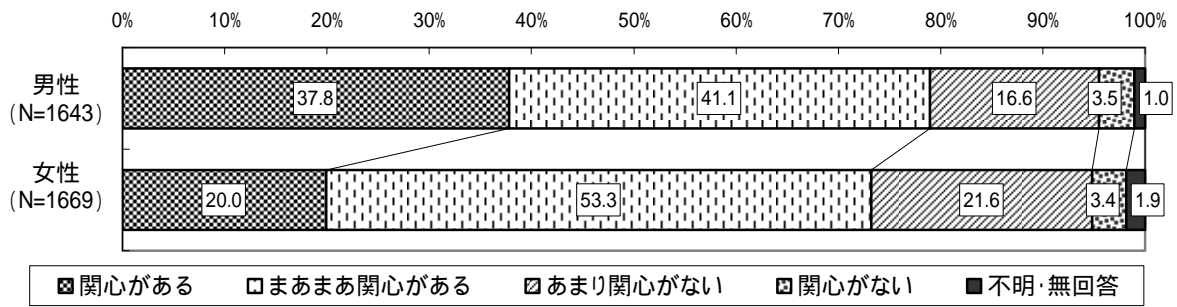
【地域別】

すべての地域で「まあまあ関心がある」が最も多くなっている。「関心がある」については湖東地域78.0%と最も高く、次いで湖北地域の76.3%となっている。「関心がない」については湖西地域が28.5%と最も高くなっている。



【性別】

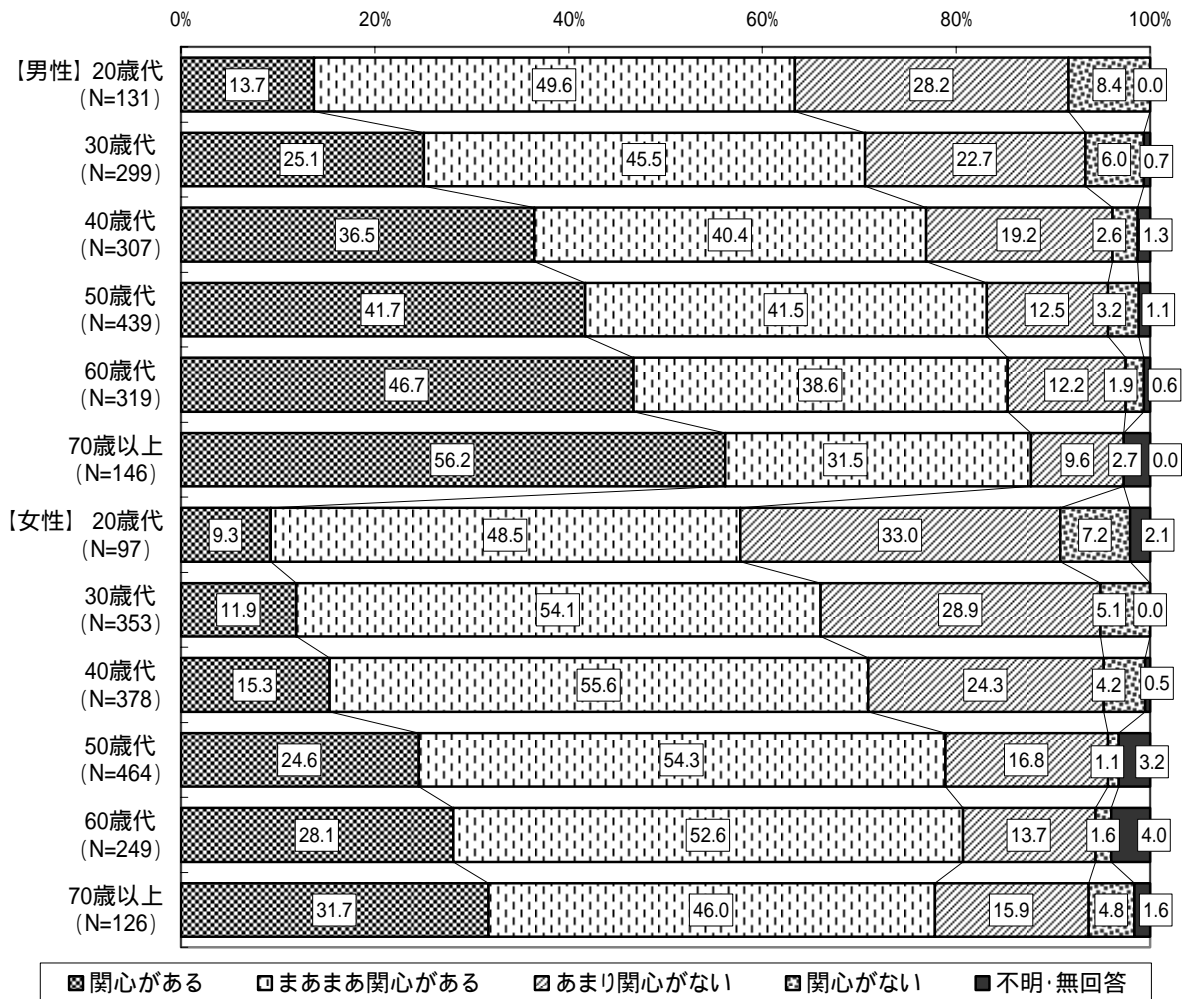
『関心がある』は男性が78.9%、女性が73.3%となっており、女性より男性の方が5.6ポイント高くなっている。



【性・年代別】

男女とも、「関心がある」は年代が高くなるにつれ割合も高くなっており、70歳以上では、男性が56.2%、女性が31.7%となっている。『関心がある』は男性では70歳以上で87.7%、女性では60歳代の80.7%が最も高くなっている。

一方、『関心がない』では男女とも20歳代が最も高く、男性が36.6%、女性が40.2%となっている。



(3) 県政に対する満足度

問7 現在の県の施策に対して、あなたはどの程度満足していますか。1～51のそれぞれの項目について、右の欄の1～6の中からあなたの満足度合いに最も近いものを1つ選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

下表に示す51項目について、『満足度』を調査した。

1. 「満足」
2. 「どちらかといえば満足」
3. 「どちらかともいえない」
4. 「どちらかといえば不満」
5. 「不満」
6. 「わからない」

を選択肢とし、本報告書では『満足度』(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)と『不満度』(「どちらかといえば不満」と「不満」の合計)に着目して、分析を行った。

項 目		図表中での省略表記
環 境	1. 琵琶湖や河川などの水環境を守る取り組み	水環境
	2. 健全な大気環境の保全や地球の温暖化を防止する取り組み	大気環境
	3. 野生生物の保護など自然環境を保全する取り組み	自然環境
	4. 田園風景や歴史環境など美しいふるさとの景観づくり	景観
	5. 身近な地域におけるみどりづくり	みどり
	6. 県民生活や事業活動による廃棄物の減量やリサイクル、環境に配慮した製品の購入など資源循環の取り組み	省資源・資源循環
	7. 太陽光発電やバイオディーゼル燃料など、新エネルギーを導入する取り組み	新エネルギー
	8. ごみのポイ捨て防止や県民生活、事業活動による廃棄物を適正に処理する取り組み	廃棄物
産 業 経 済	9. 経済振興特区や工業団地整備、産学官の連携など産業活動を活性化する取り組み	産業基盤
	10. 環境ビジネスやバイオテクノロジー、IT(情報通信技術)などの新しい産業づくり	新産業
	11. 観光の振興や観光産業づくり	観光
	12. ものづくりの人材育成や企業の技術力等の向上を支援する取り組み	競争力強化
	13. 地場産業や商店街を活性化する取り組み	地域産業
	14. 安定した雇用の確保や働きやすい環境づくり	雇用
	15. 農薬や化学肥料を減らすなど環境にこだわった農業を推進する取り組み	環境こだわり農業
	16. 農業の担い手の育成や県農畜産物のブランド化を推進するなど食料を安定的に供給する取り組み	農畜産業
	17. 林業の担い手の育成や県産材の需要を拡大する取り組み	林業
	18. ニゴロブナ、セタジミなど琵琶湖の在来魚介類を増やす取り組み	水産業
	19. 道路や鉄道などの交通基盤を整備する取り組み	交通基盤
	20. インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤を整備する取り組み	情報通信
	21. 産学官連携や技術者等の育成による科学技術を振興する取り組み	科学技術

	項 目	図表中での省略表記
暮らし	22. 家庭、地域、学校、職場が一体となった健康づくりの取り組み	健康づくり
	23. 病院などの医療サービスを提供する取り組み	医療
	24. 生活保護や国民健康保険の取り組み	生活安定
	25. 高齢者の介護や生きがいを支援する取り組み	高齢者
	26. 障害者の自立を支援する取り組み	障害者
	27. 子どもの保育や子育て支援、児童虐待の防止などの取り組み	子ども
	28. 地域で互いに支え合い、誰もが住みたくなる福祉のまちづくり	地域福祉
	29. 住宅、公園、下水道などの快適な居住環境づくり	居住環境
	30. 食品、水道水の安全確保や消費者を守る取り組み	消費者
	31. 洪水や土砂災害、地震などの災害に備える取り組み	災害
	32. 犯罪に遭いにくい安全なまちづくり	防犯
	33. 交通事故を防ぐ取り組み	交通安全
	34. 環境と調和する計画的な土地利用の取り組み	土地利用
	35. 都市や農山村の快適な生活環境を整備する取り組み	都市・農山村基盤
教育	36. 基礎基本の徹底や個性を伸ばす学校教育の取り組み	学校教育
	37. 家庭や地域での教育力を高める取り組み	地域の教育力
	38. 青少年の社会参加や非行を防止する取り組み	青少年育成
	39. 学校や公民館、図書館等を活用した生涯学習の取り組み	生涯学習
	40. 県立大学をはじめとする魅力ある大学づくり	高等教育
自治文化	41. 人権侵害や差別のない人権が尊重される社会づくり	人権尊重
	42. 男女の人権が尊重され、ともに多様な生き方ができる社会づくり	男女共同参画
	43. 地域の特色を生かした魅力的なまちづくり	まちづくり
	44. ボランティアやNPOなどによる社会貢献活動への支援	市民活動
	45. 外国人との交流や国際理解など国際性豊かな人と地域づくり	国際化
	46. 貴重な歴史や文化資産の保存とまちづくりなどへの活用	歴史文化資産
	47. 文化芸術の体験機会の充実や活動支援	文化・芸術
	48. 生涯にわたりスポーツに親しむことのできる環境づくり	スポーツ
	49. 県政に関する情報の発信や公開などの取り組み	県政情報
	50. 市町合併の取り組みに対する支援	市町合併
	51. 行政経営の改善や健全な財政基盤をつくる取り組み	県政運営

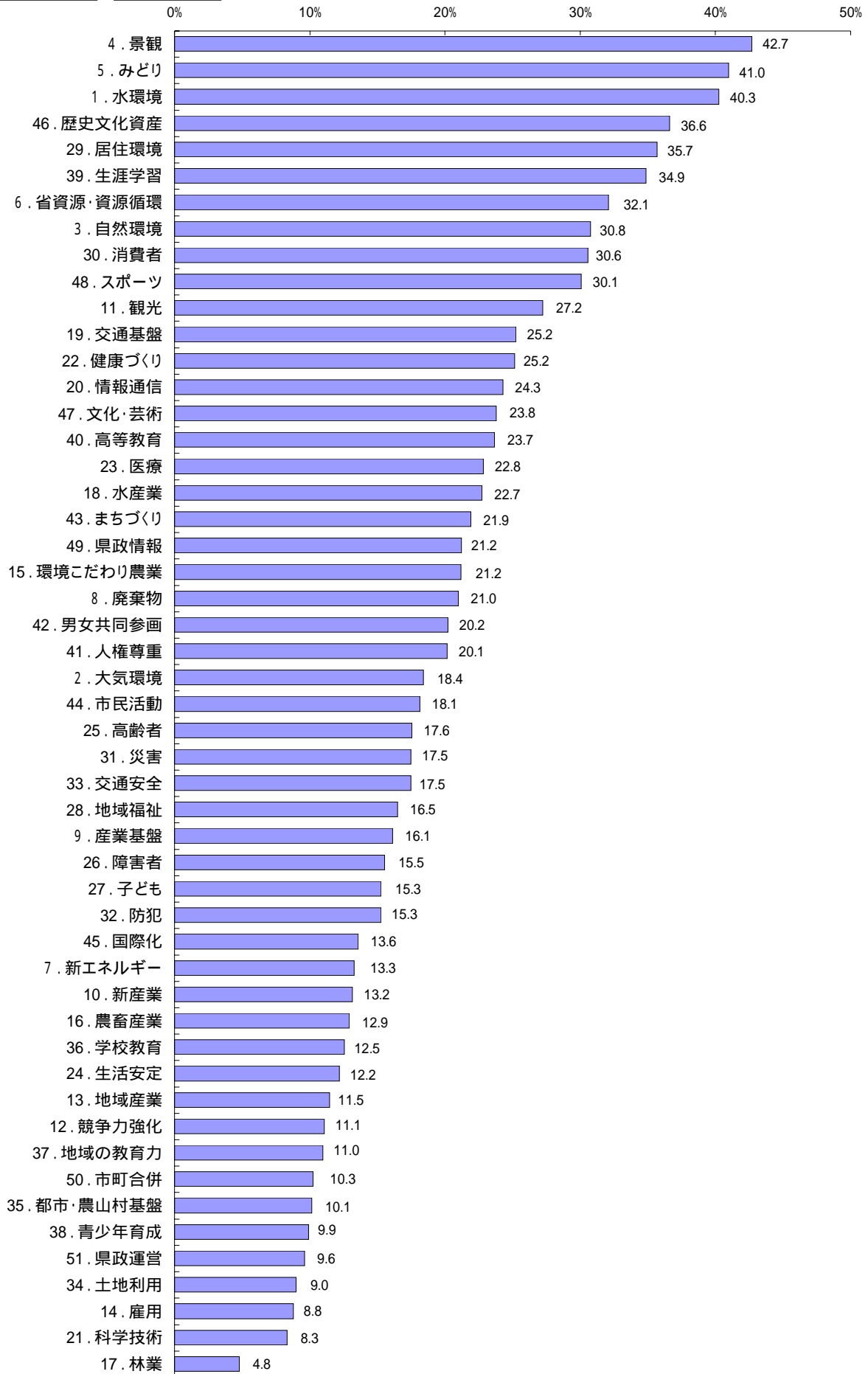
満足度の高い施策

『満足度』の最も高い施策は、「景観」で42.7%、次いで「みどり」(41.0%)、「水環境」(40.3%)と続いており、環境の分野が上位3項目となっている。

満足度上位10項目の内訳は、環境分野から5項目、暮らしの分野から2項目、自治・文化の分野から2項目、教育の分野から1項目となっている。

満足度

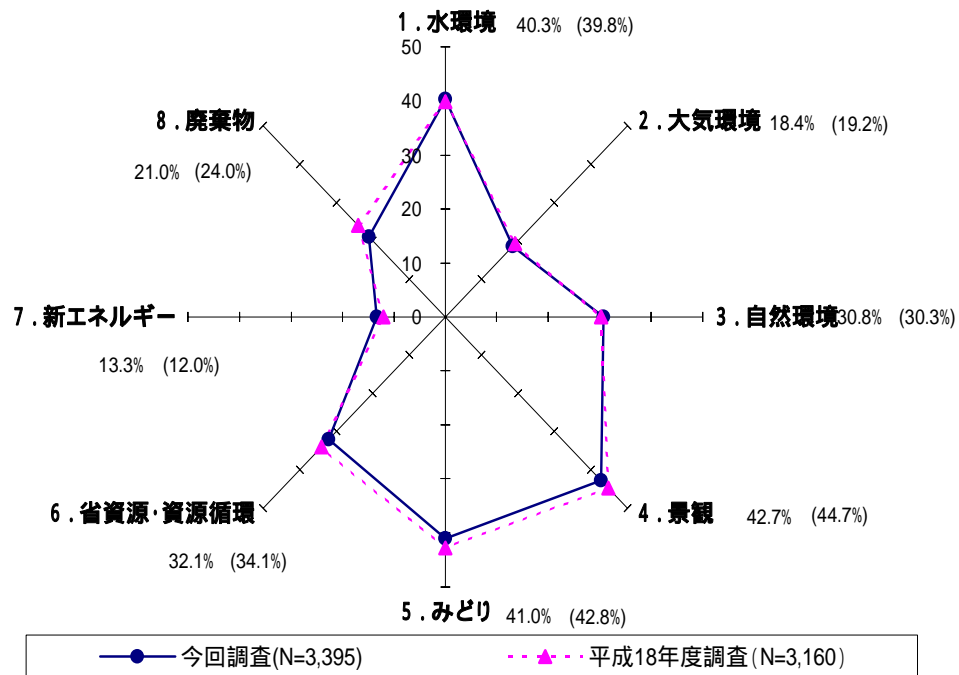
N=3,395



- 1 環境分野の『満足度』【全体平均 29.9%（平成 18 年度調査 30.9%）】

環境の分野の 8 項目中、「景観」に対する『満足度』が最も高く 42.7%、次いで「みどり」が 41.0%、「水環境」が 40.3%となっている。

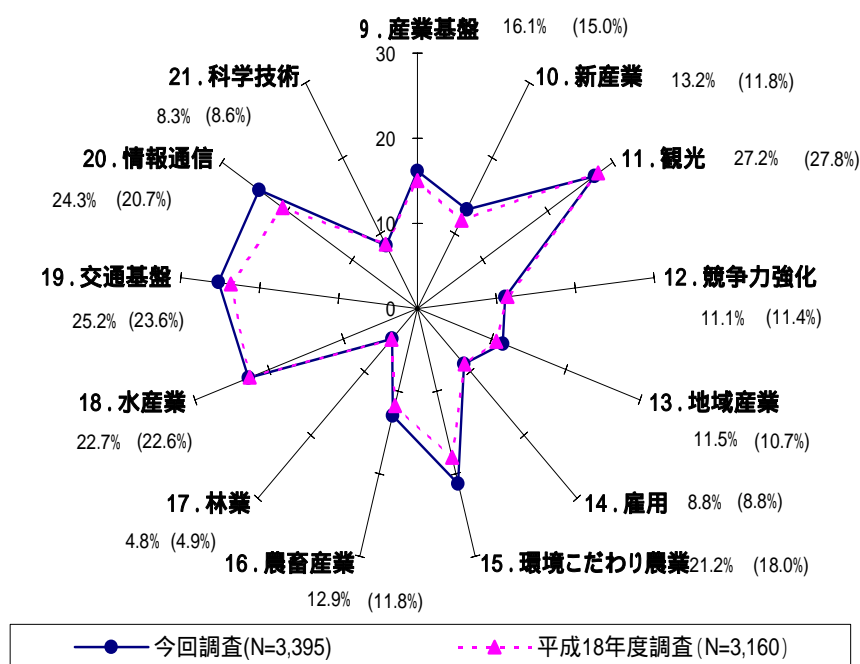
平成 18 年度調査と比較すると、『満足度』は、「水環境」、「自然環境」、「新エネルギー」において高くなっている。



- 2 産業・経済分野の『満足度』【全体平均 16.0%（平成 18 年度調査 15.1%）】

産業・経済分野の 13 項目中、「観光」に対する満足度が最も高く 27.2%、次いで「交通基盤」(25.2%)、「情報通信」(24.3%)となっている。

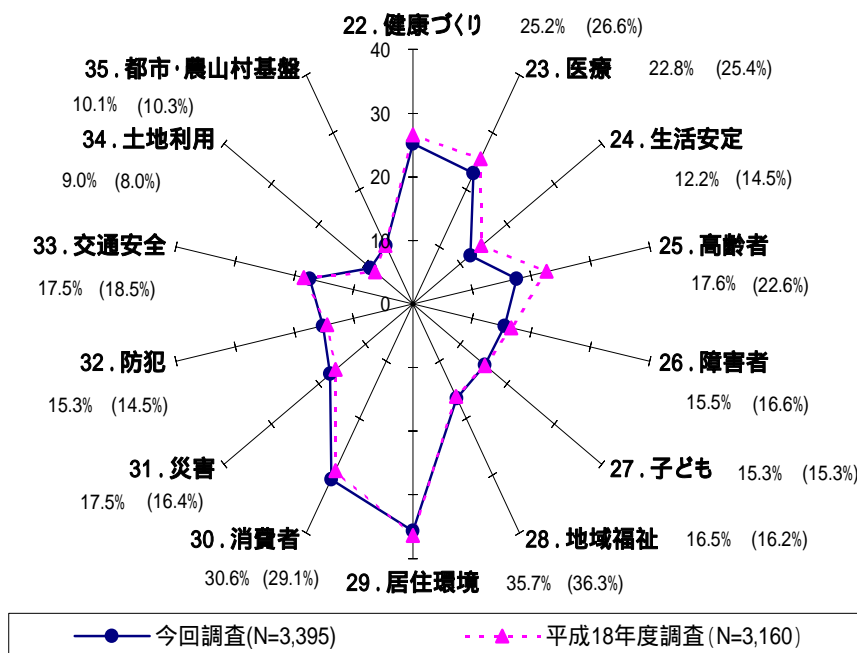
平成 18 年度と比較すると、「環境こだわり農業」が 3.2 ポイント、「情報通信」が 3.6 ポイント高くなっている。



- 3 暮らしの分野の『満足度』【全体平均 18.6% (平成 18 年度調査 19.3%)】

暮らしの分野の 14 項目中、「居住環境」に対する満足度が最も高く 35.7%、次いで「消費者」(30.6%)、「健康づくり」(25.2%)と続いている。

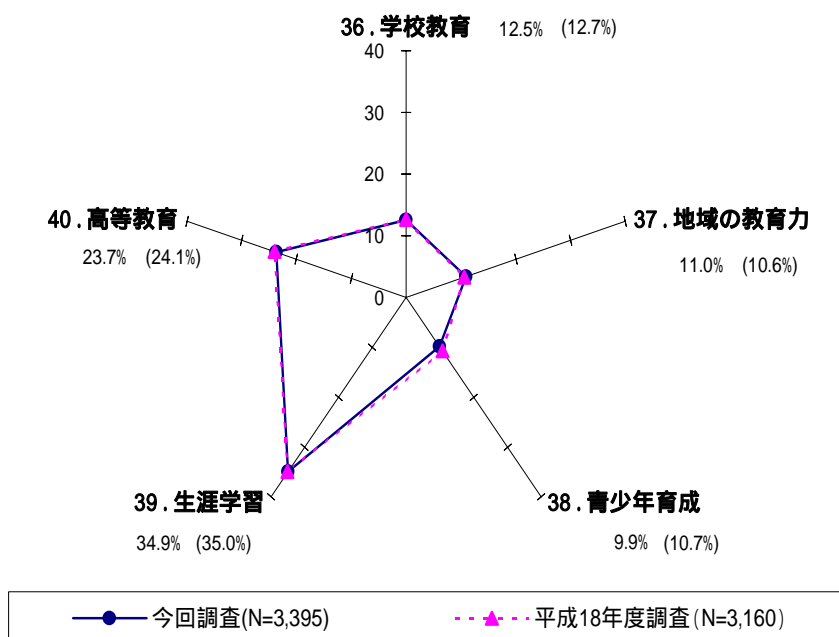
平成 18 年度調査と比較すると、『満足度』は、特に「医療」、「生活安定」、「高齢者」で低くなっており、なかでも「高齢者」は 5.0 ポイント低くなっている。



- 4 教育分野の『満足度』【全体平均 18.4% (平成 18 年度調査 18.6%)】

教育の分野の 5 項目中、「生涯学習」に対する満足度が 34.9%と最も高くなっており、次いで「高等教育」が 23.7%となっている。

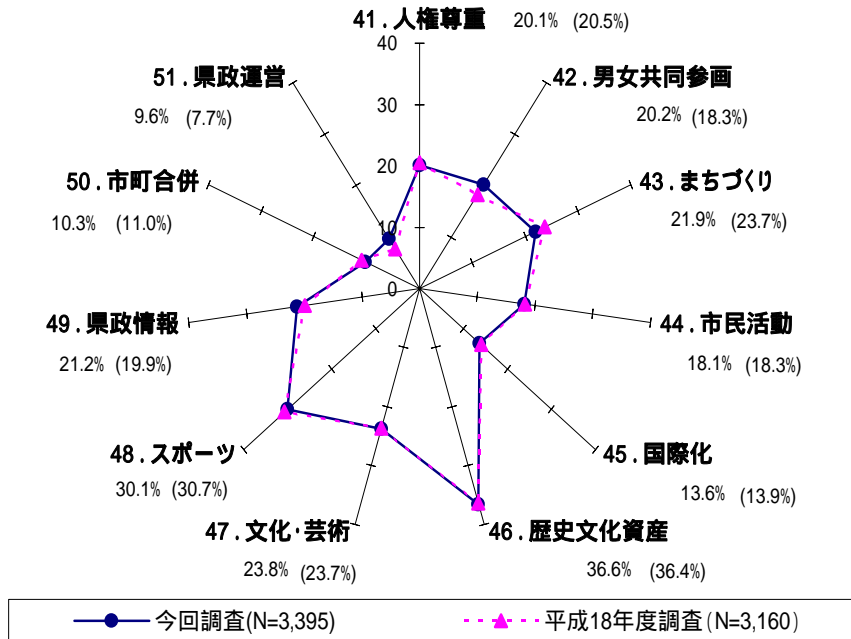
平成 18 年度調査と比較すると、『満足度』は「地域の教育力」を除くすべての項目で低下している。



- 5 自治・文化分野の『満足度』【全体平均 20.4% (平成 18 年度調査 20.2%)】

自治・文化分野の 11 項目中、「歴史文化遺産」に対する『満足度』が最も高く 36.6%となっており、次いで「スポーツ」(30.1%)、「文化・芸術」(23.8%)と続いている。

平成 18 年度調査と比較すると、『満足度』は「男女共同参画」、「歴史文化資産」、「県政情報」、「市町合併」、「県政運営」で高くなっている。



【地域別】

大津・湖南地域では「水環境」、甲賀・湖西地域では「みどり」、東近江・湖東・湖北地域では「景観」における『満足度』がそれぞれ最も高い割合となっている。

湖北地域では「観光」が 3 位で 43.6%、甲賀地域では「スポーツ」が 5 位で 39.9%となっている。

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体 (N = 3,395)	4 . 景観 42.7%	5 . みどり 41.0%	1 . 水環境 40.3%	46 . 歴史文化資産 36.6%	29 . 居住環境 35.7%
大津地域 (N = 816)	1 . 水環境 42.2%	5 . みどり 40.9%	4 . 景観 39.7%	29 . 居住環境 38.0%	46 . 歴史文化資産 35.3%
湖南地域 (N = 736)	1 . 水環境 41.0%	4 . 景観 37.2%	5 . みどり 36.4%	29 . 居住環境 35.9%	6 . 省資源・資源循環 / 39 . 生涯学習 35.6%
甲賀地域 (N = 276)	5 . みどり 48.6%	4 . 景観 45.7%	1 . 水環境 44.9%	39 . 生涯学習 42.0%	48 . スポーツ 39.9%
東近江地域 (N = 640)	4 . 景観 48.1%	5 . みどり 41.9%	46 . 歴史文化資産 36.9%	1 . 水環境 35.9%	39 . 生涯学習 35.6%
湖東地域 (N = 364)	4 . 景観 44.5%	1 . 水環境 42.9%	46 . 歴史文化資産 40.7%	5 . みどり 40.1%	29 . 居住環境 37.4%
湖北地域 (N = 404)	4 . 景観 46.0%	46 . 歴史文化資産 45.0%	11 . 観光 43.6%	5 . みどり 42.1%	1 . 水環境 39.1%
湖西地域 (N = 158)	5 . みどり 44.9%	4 . 景観 44.3%	1 . 水環境 33.5%	29 . 居住環境 31.6%	6 . 省資源・資源循環 / 46 . 歴史文化資産 / 48 . スポーツ 31.0%

【性別】

男性では「水環境」(42.7%)、「景観」(40.2%)、「居住環境」(38.9%)、女性では「景観」(46.4%)、「みどり」(45.8%)、「水環境」(38.8%)と続いている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=1,643)	1. 水環境	4. 景観	29. 居住環境	5. みどり	46. 歴史文化資産
	42.7%	40.2%	38.9%	36.8%	35.3%
女性 (N=1,669)	4. 景観	5. みどり	1. 水環境	46. 歴史文化資産	39. 生涯学習
	46.4%	45.8%	38.8%	38.0%	37.7%

【性・年代別】

男性の20歳代では「歴史文化資産」が、30歳代では「景観」、40歳以上では「水環境」が1位となっている。女性では「みどり」または「景観」がいずれの年代においても1位となっている。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	20歳代 (N=131)	46. 歴史文化資産	30. 消費者	29. 居住環境	3. 自然環境	20. 情報通信
		41.2%	40.5%	37.4%	35.9%	35.9%
	30歳代 (N=299)	4. 景観	29. 居住環境	1. 水環境	46. 歴史文化資産	39. 生涯学習
		42.5%	37.8%	37.5%	35.5%	33.1%
	40歳代 (N=307)	1. 水環境	5. みどり / 46. 歴史文化資産		4. 景観	6. 省資源・資源循環
		35.5%	30.6%		29.0%	27.7%
50歳代 (N=439)	1. 水環境	29. 居住環境 / 4. 景観		5. みどり	46. 歴史文化資産	
	45.8%	42.4%		39.4%	33.9%	
60歳代 (N=319)	1. 水環境	4. 景観	5. みどり / 29. 居住環境		46. 歴史文化資産	
	45.8%	43.3%	41.4%		38.6%	
70歳以上 (N=146)	1. 水環境	4. 景観 / 30. 消費者		29. 居住環境	5. みどり	
	58.9%	53.4%		50.7%	49.3%	
女性	20歳代 (N=97)	5. みどり	46. 歴史文化資産	4. 景観	6. 省資源・資源循環	19. 交通基盤
		48.5%	45.4%	44.3%	36.1%	33.0%
	30歳代 (N=353)	5. みどり / 4. 景観		46. 歴史文化資産	1. 水環境	39. 生涯学習
		43.1%		37.1%	34.6%	34.3%
	40歳代 (N=378)	5. みどり	1. 水環境	4. 景観	6. 省資源・資源循環	46. 歴史文化資産
		47.1%	45.8%	45.5%	39.4%	37.8%
50歳代 (N=464)	4. 景観	5. みどり	46. 歴史文化資産	39. 生涯学習	1. 水環境	
	49.1%	44.4%	42.5%	40.5%	40.3%	
60歳代 (N=249)	5. みどり	4. 景観	39. 生涯学習	22. 健康づくり	6. 省資源・資源循環	
	48.2%	45.0%	38.6%	38.2%	37.3%	
70歳以上 (N=126)	4. 景観	39. 生涯学習	5. みどり	29. 居住環境	22. 健康づくり	
	52.4%	47.6%	47.6%	42.9%	38.1%	

【定住意向別】

「住みつけたい」と回答した人では「景観」が最も高く 46.4%、ついで「みどり」(43.0%)となっている。一方「住みつけたいとは思わない」と回答した人では、「水環境」(39.6%)が最も高く、次いで景観(35.2%)、自然環境(30.8%)と続いている。「どちらともいえない」と回答した人では「みどり」が最も高く 36.3%、次いで水環境(35.2%)となっている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
住みつけたい (N=2,566)	4. 景観 46.4%	5. みどり 43.0%	1. 水環境 42.3%	29. 居住環境 38.9%	46. 歴史文化資産 38.4%
住みつけたい とは思わない (N=91)	1. 水環境 39.6%	4. 景観 35.2%	3. 自然環境 30.8%	46. 歴史文化資産 28.6%	5. みどり 27.5%
どちらとも いえない (N=673)	5. みどり 36.3%	1. 水環境 35.2%	4. 景観 31.9%	46. 歴史文化資産 30.9%	6. 省資源・資源 循環 27.6%

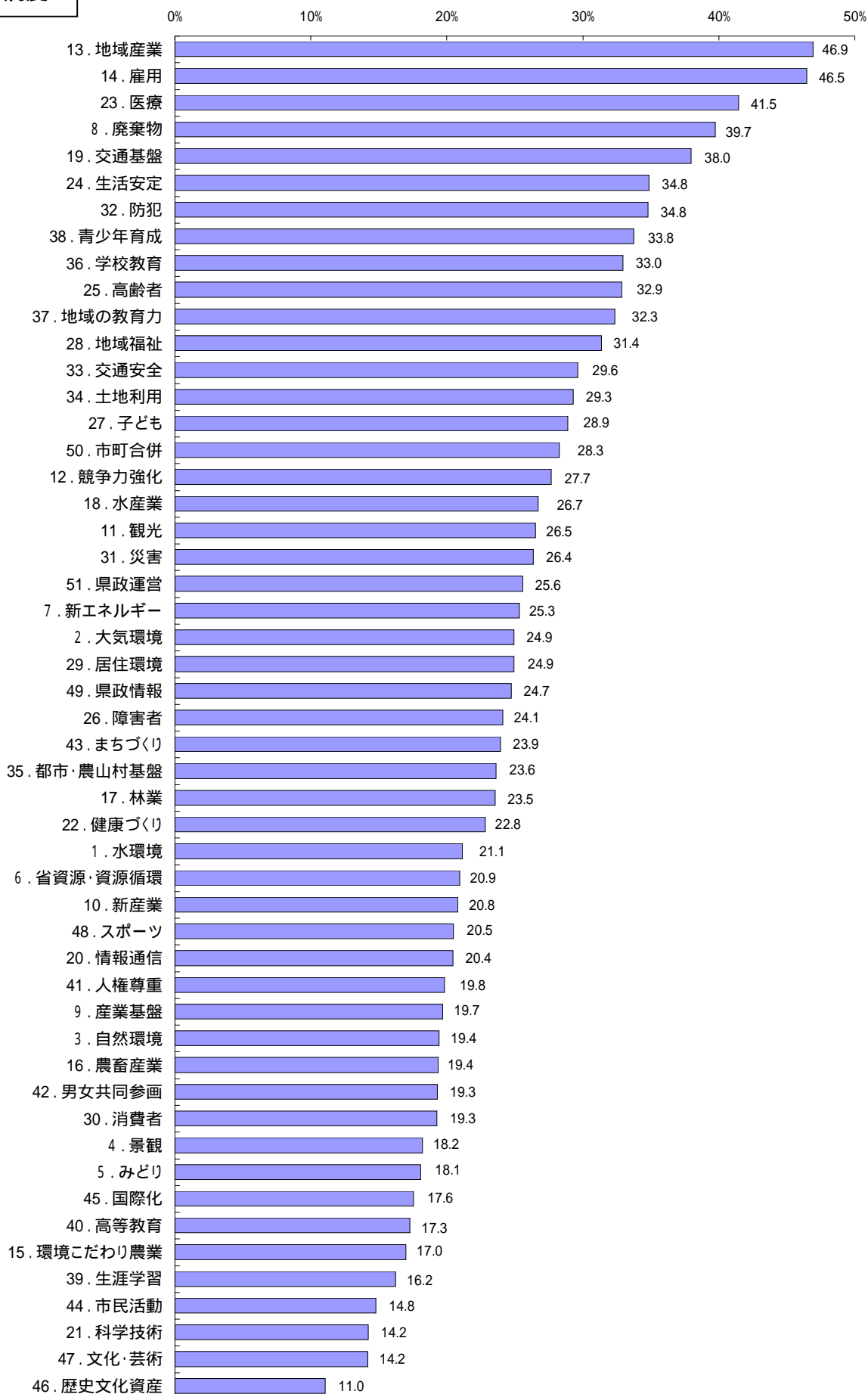
『不満足』の高い施策

『不満足』の最も高い施策は、「地域産業」で 46.9%、次いで「雇用」(46.5%)、「医療」(41.5%)と続いており、上位2項目は産業・経済の分野となっている。

不満足の上位10項目の内訳は、暮らしの分野から4項目、産業・経済の分野から3項目、教育の分野から2項目、環境の分野から1項目となっている。

不満度

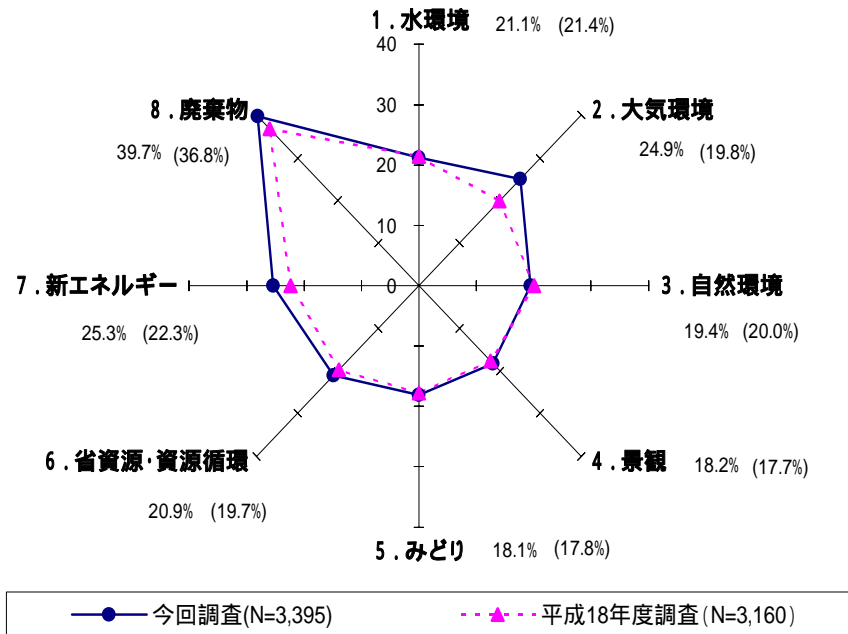
N=3,395



- 1 環境分野の『不満度』【全体平均 23.5%（平成 18 年度調査 21.9%）】

環境分野の 8 項目中、「廃棄物」に対する『不満度』が最も高く 39.7%、次いで「新エネルギー」が 25.3%、「大気環境」が 24.9%となっている。

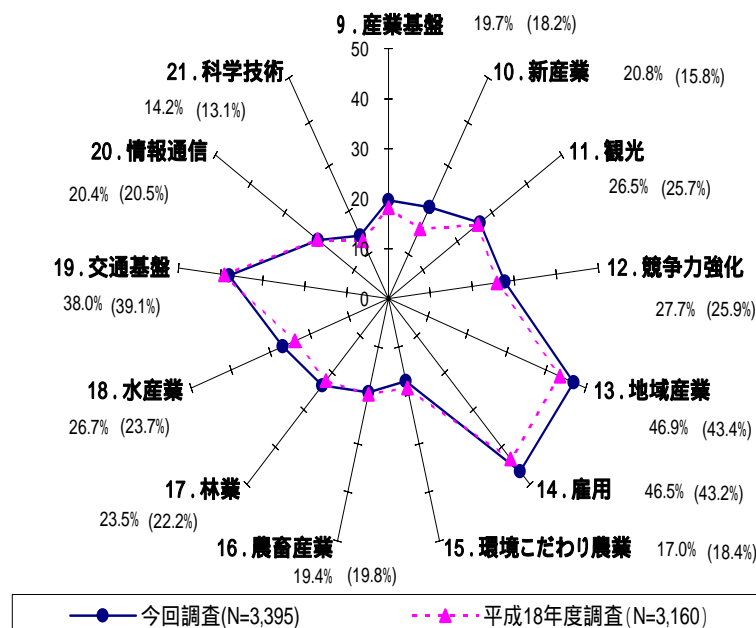
平成 18 年度調査と比較すると、『不満度』は「水環境」、「自然環境」の除くすべての項目で高くなっており、なかでも「大気環境」では 5.1 ポイント高くなっている。



- 2 産業・経済分野の『不満度』【全体平均 26.7%（平成 18 年度調査 25.3%）】

産業・経済分野の 13 項目中、「地域産業」に対する『不満度』が最も高く 46.9%となっており、次いで「雇用」(46.5%)、「交通基盤」(38.0%)と続いている。

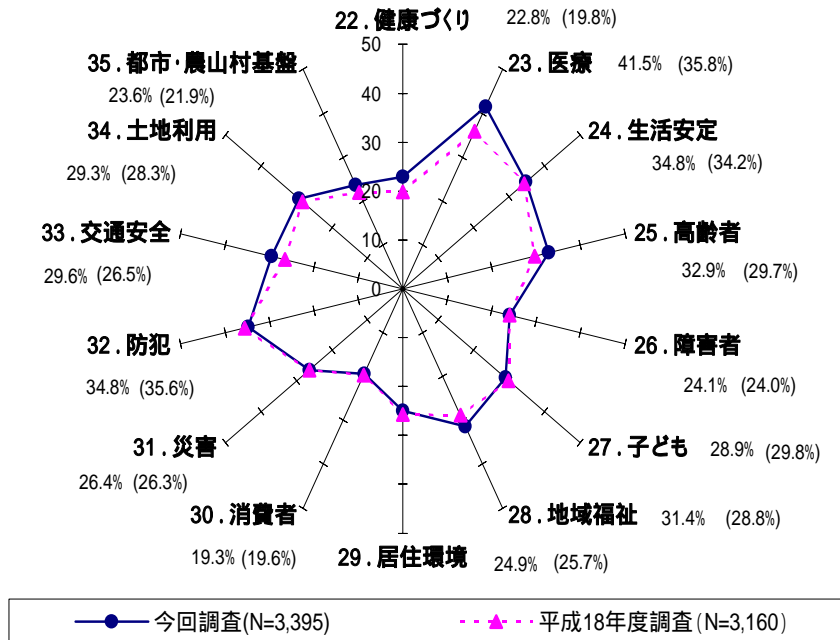
平成 18 年度調査と比較すると、『不満度』は「環境こだわり農業」、「農畜産業」、「交通基盤」、「情報通信」において低くなっており、その他の項目はいずれも高くなっている。なかでも「新産業」においては 5.0 ポイント高くなっている。



- 3 暮らしの分野の『不満度』【全体平均 28.9% (平成 18 年度調査 27.6%)】

暮らしの分野の 14 項目中、「医療」に対する『不満度』が最も高く 41.5%、次いで同率で「生活安定」、「防犯」が 34.8%となっている。

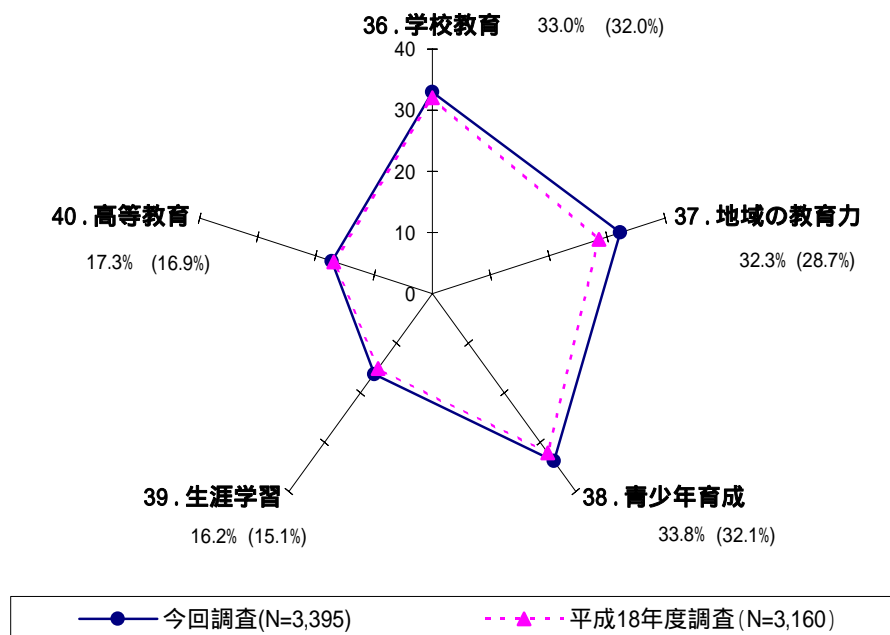
平成 18 年度調査と比較すると、「子ども」、「居住環境」、「消費者」、「防犯」においては低くなっており、その他の項目においてはいずれも高くなっている。なかでも「医療」においては 5.7 ポイント高くなっている。



- 4 教育分野の『不満度』【全体平均 26.5% (平成 18 年度調査 25.0%)】

教育分野の 5 項目中、「青少年育成」に対する『不満度』が 33.8%と最も高く、「学校教育」が 33.0%と続いている。

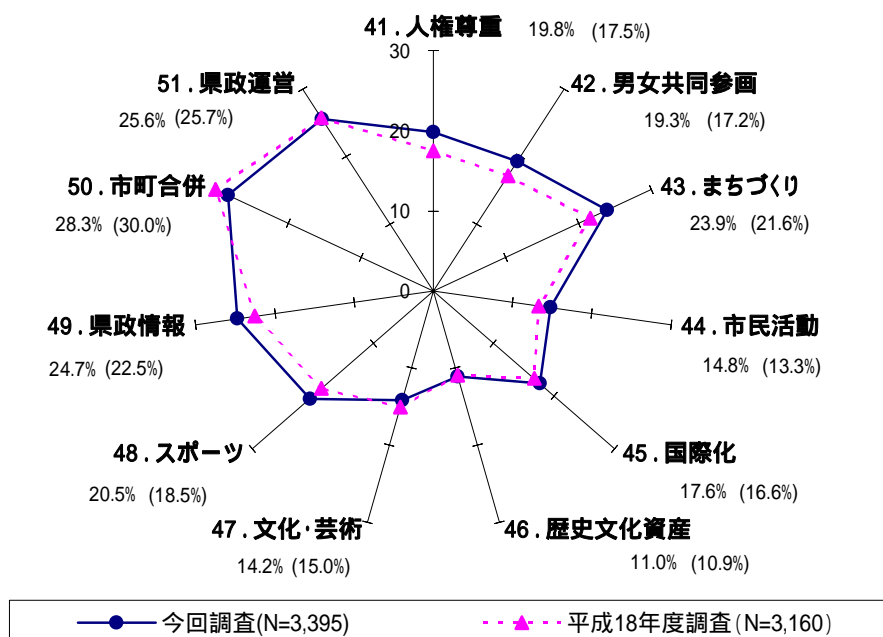
平成 18 年度調査と比較すると、いずれの項目においても高くなっており、なかでも「地域の教育力」においては 3.6 ポイント高くなっている。



- 5 自治・文化分野の『不満度』【全体平均 20.0% (平成 18 年度調査 19.0%)】

自治・文化分野の 11 項目中、「市町合併」に対する『不満度』が最も高く 28.3%、次いで「県政運営」が 25.6%、「県政情報」が 24.7%となっている。

平成 18 年度調査と比較すると、全体的にあまり大きな差は見受けられないが、「文化・芸術」、「市町合併」、「県政運営」を除く全ての項目において高くなっている。



【地域別】

大津・湖南・甲賀・東近江地域では「地域産業」が1位、湖東・湖西地域では「医療」、湖北地域では「雇用」がそれぞれ1位となっている。

また、東近江地域では「地域福祉」、「学校教育」がそれぞれ4位、5位、大津地域では「青少年育成」が5位、湖東地域では「生活安定」が4位となっている。

「市町合併」は湖北・湖西地域で上位5項目に入っている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (N=3,395)	13. 地域産業	14. 雇用	23. 医療	8. 廃棄物	19. 交通基盤
	46.9%	46.5%	41.5%	39.7%	38.0%
大津地域 (N=816)	13. 地域産業	14. 雇用	19. 交通基盤	8. 廃棄物	38. 青少年育成
	48.5%	43.9%	41.4%	38.2%	35.5%
湖南地域 (N=736)	13. 地域産業	14. 雇用	8. 廃棄物	32. 防犯	19. 交通基盤
	45.4%	43.5%	38.9%	38.3%	34.2%
甲賀地域 (N=276)	13. 地域産業	19. 交通基盤	8. 廃棄物	14. 雇用	23. 医療
	55.1%	46.4%	44.2%	42.0%	37.0%
東近江地域 (N=640)	13. 地域産業	14. 雇用	23. 医療	28. 地域福祉	36. 学校教育
	50.3%	48.4%	44.1%	38.8%	38.8%
湖東地域 (N=364)	23. 医療	13. 地域産業	14. 雇用	24. 生活安定	8. 廃棄物
	64.3%	49.5%	48.4%	44.0%	41.8%
湖北地域 (N=404)	14. 雇用	8. 廃棄物	23. 医療	50. 市町合併	32. 防犯
	49.5%	45.0%	43.1%	40.1%	39.6%
湖西地域 (N=158)	23. 医療	14. 雇用	13. 地域産業	19. 交通基盤	50. 市町合併
	67.1%	62.0%	47.5%	46.8%	38.6%

【性別】

男性では「地域産業」が最も高く53.4%、次いで「雇用」(47.2%)、「医療」(44.2%)と続いている。女性では「雇用」が46.0%と最も高くなっており、「地域産業」(40.4%)、「医療」(38.6%)と続いている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (N=1,643)	13. 地域産業	14. 雇用	23. 医療	8. 廃棄物	19. 交通基盤
	53.4%	47.2%	44.2%	44.0%	43.7%
女性 (N=1,669)	14. 雇用	13. 地域産業	23. 医療	8. 廃棄物	24. 生活安定
	46.0%	40.4%	38.6%	36.5%	33.8%

【性・年代別】

男性では30歳代を除くいずれの年代においても、「地域産業」が1位となっている。30歳代では「交通基盤」が1位、「地域産業」は4位となっている。

女性では30～60歳代で「雇用」がそれぞれ最も多く、20歳代では「医療」、70歳以上では「生活安定」が1位となっている。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	20歳代 (N=131)	13. 地域産業 45.0%	19. 交通基盤 40.5%	8. 廃棄物 39.7%	14. 雇用 38.9%	12. 競争力強化 38.2%
	30歳代 (N=299)	19. 交通基盤 48.8%	14. 雇用 46.8%	23. 医療 45.2%	13. 地域産業 44.5%	8. 廃棄物 39.1%
	40歳代 (N=307)	13. 地域産業 55.0%	14. 雇用 53.7%	23. 医療 53.1%	19. 交通基盤 52.1%	32. 防犯 49.5%
	50歳代 (N=439)	13. 地域産業 54.9%	14. 雇用 49.7%	8. 廃棄物 49.2%	23. 医療 46.5%	19. 交通基盤 46.2%
	60歳代 (N=319)	13. 地域産業 60.5%	14. 雇用 46.4%	8. 廃棄物 44.8%	23. 医療 42.0%	18. 水産業 40.8%
	70歳以上 (N=146)	13. 地域産業 54.8%	17. 林業 49.3%	25. 高齢者 42.5%	8. 廃棄物/18. 水産業 41.1%	
女性	20歳代 (N=97)	23. 医療 44.3%	14. 雇用 42.3%	8. 廃棄物 39.2%	32. 防犯 38.1%	13. 地域産業 36.1%
	30歳代 (N=353)	14. 雇用 42.8%	8. 廃棄物 41.4%	19. 交通基盤 41.1%	23. 医療 40.2%	27. 子ども 39.7%
	40歳代 (N=378)	14. 雇用 47.1%	23. 医療 42.3%	36. 学校教育 41.8%	13. 地域産業 41.0%	37. 地域の教育力 38.4%
	50歳代 (N=464)	14. 雇用 54.1%	13. 地域産業 46.8%	23. 医療 42.7%	24. 生活安定 39.7%	8. 廃棄物 38.8%
	60歳代 (N=249)	14. 雇用 43.4%	13. 地域産業 37.8%	24. 生活安定/25. 高齢者 33.7%		28. 地域福祉 30.9%
	70歳以上 (N=126)	24. 生活安定 38.1%	25. 高齢者 33.3%	14. 雇用/32. 防犯 30.2%		13. 地域産業 28.6%

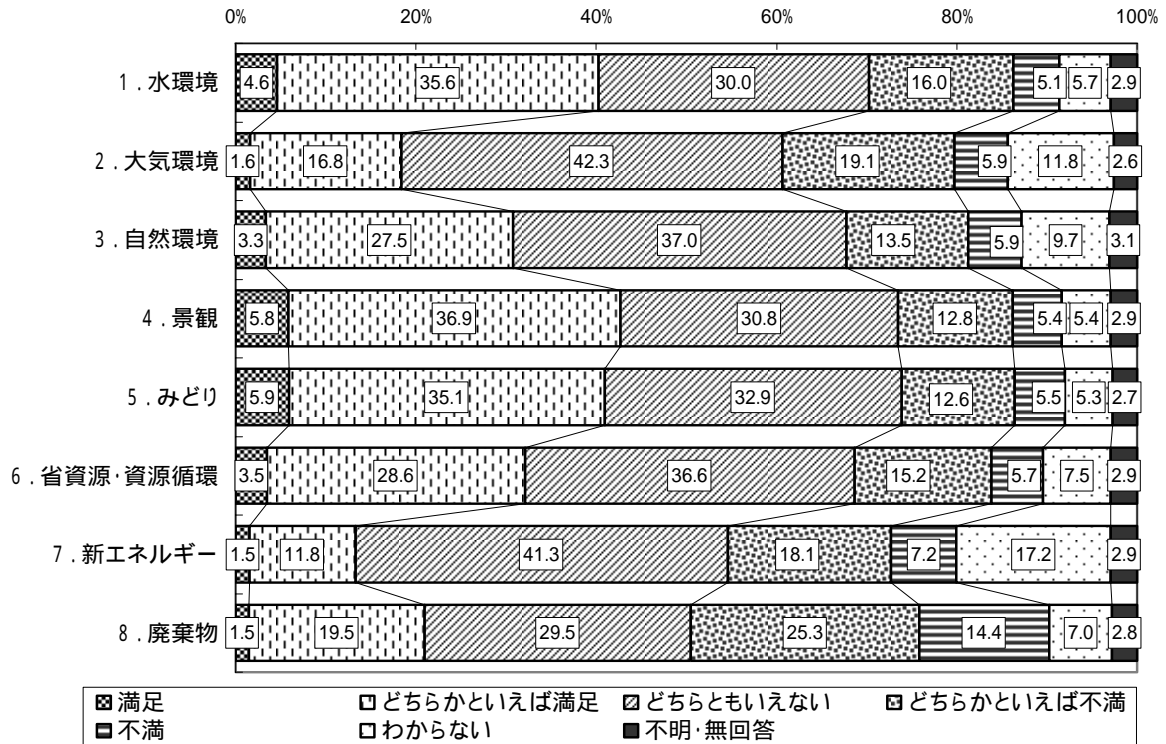
【定住意向別】

「住みつづけたい」と回答した人では「地域産業」が最も高く48.2%、次いで「雇用」(44.9%)となっている。「住みつづけたいと思わない」と回答した人では「交通基盤」が65.9%と高く、次いで「廃棄物」(52.7%)となっている。「どちらともいえない」と回答した人では「雇用」が52.2%で最も高く、次いで「医療」(49.3%)となっている。

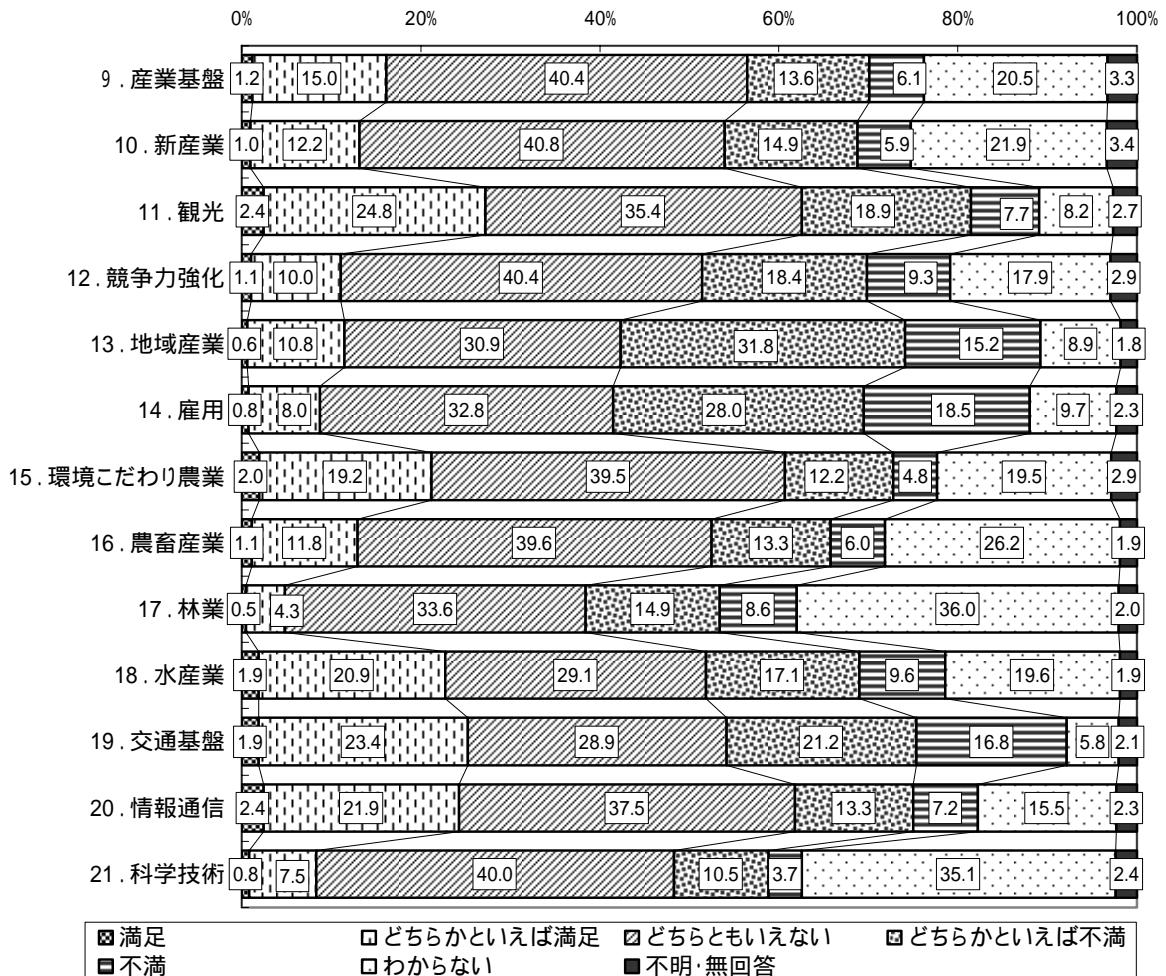
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
住みつづけたい (N=2,566)	13. 地域産業 48.2%	14. 雇用 44.9%	23. 医療 39.2%	8. 廃棄物 39.0%	19. 交通基盤 34.6%
住みつづけたい と思わない (N=91)	19. 交通基盤 65.9%	8. 廃棄物 52.7%	14. 雇用 51.6%	13. 地域産業 48.4%	23. 医療 47.3%
どちらとも いえない (N=673)	14. 雇用 52.2%	23. 医療 49.3%	19. 交通基盤 47.0%	8. 廃棄物 42.6%	13. 地域産業 42.6%

県政に対する『満足度』、『不満度』（全体の結果）

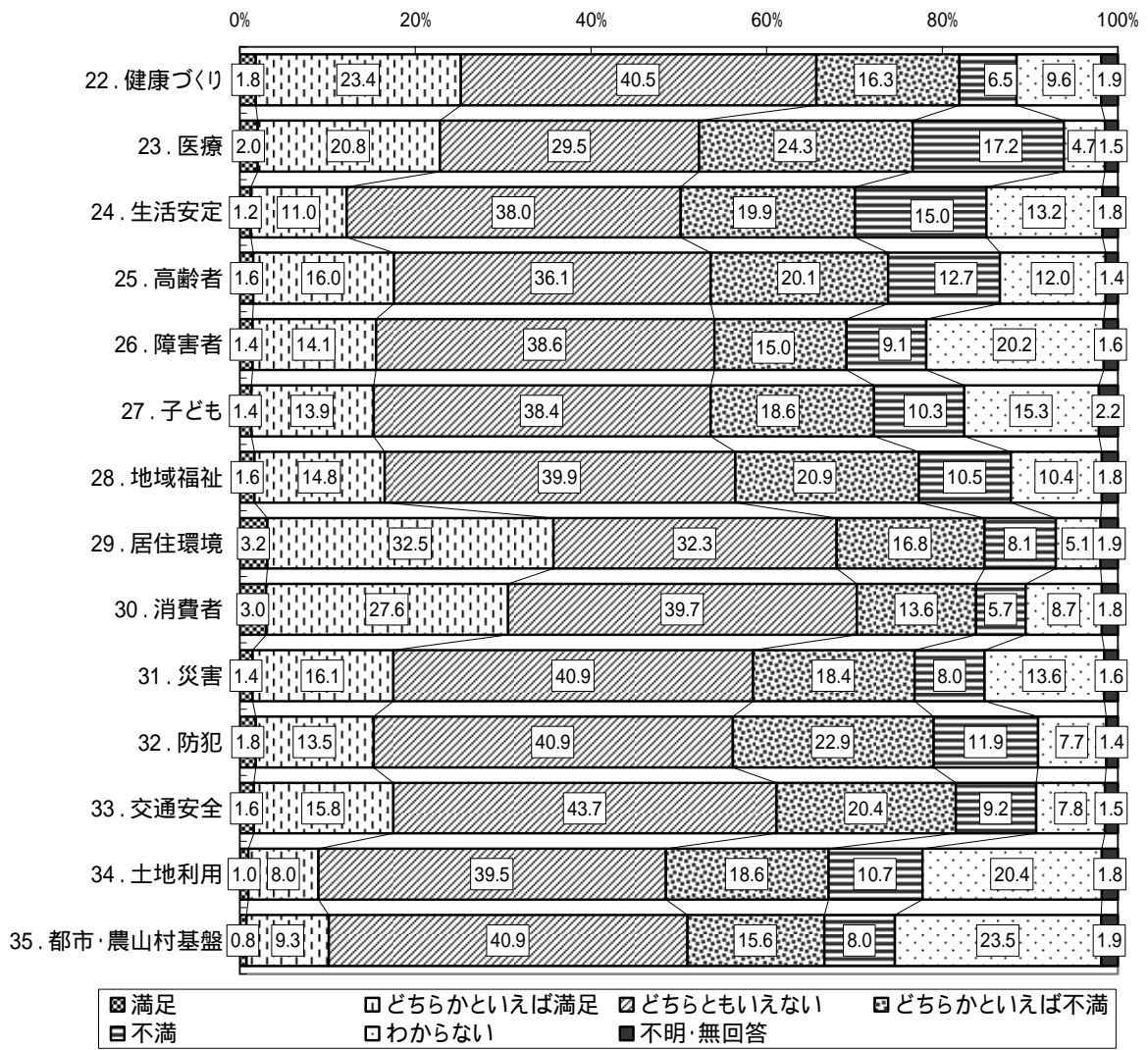
環境



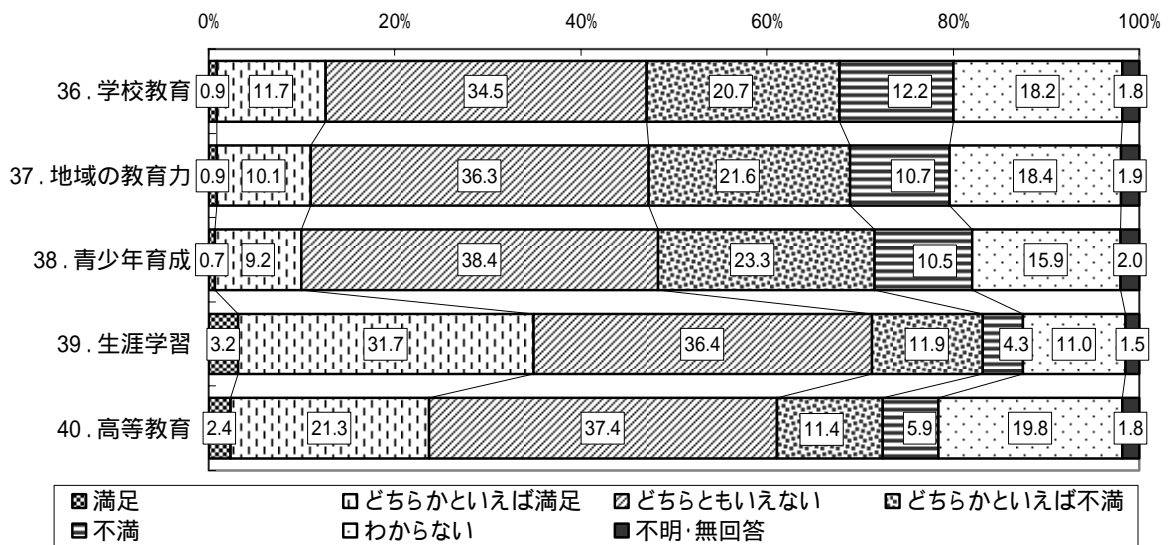
産業・経済



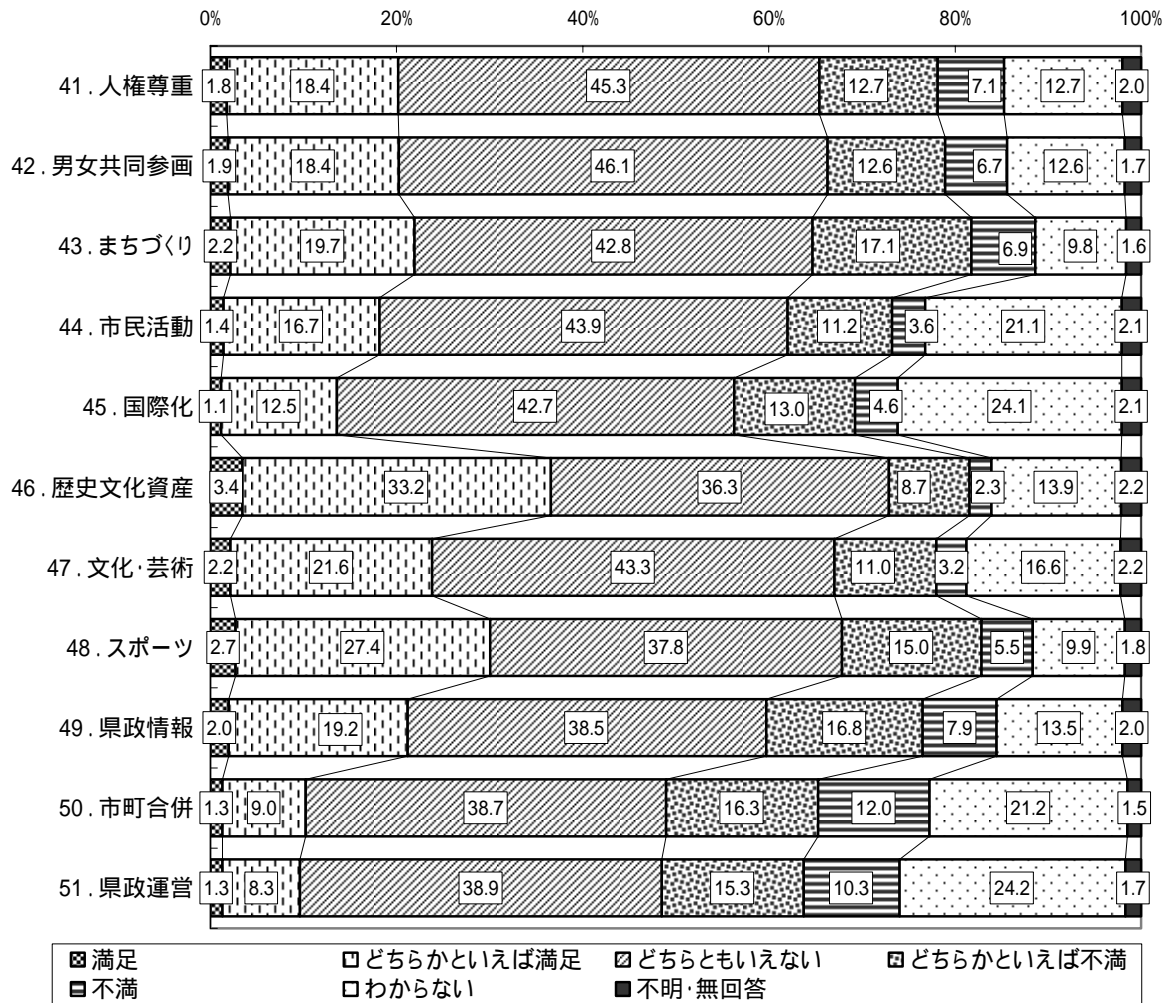
暮らし



教育



自治・文化

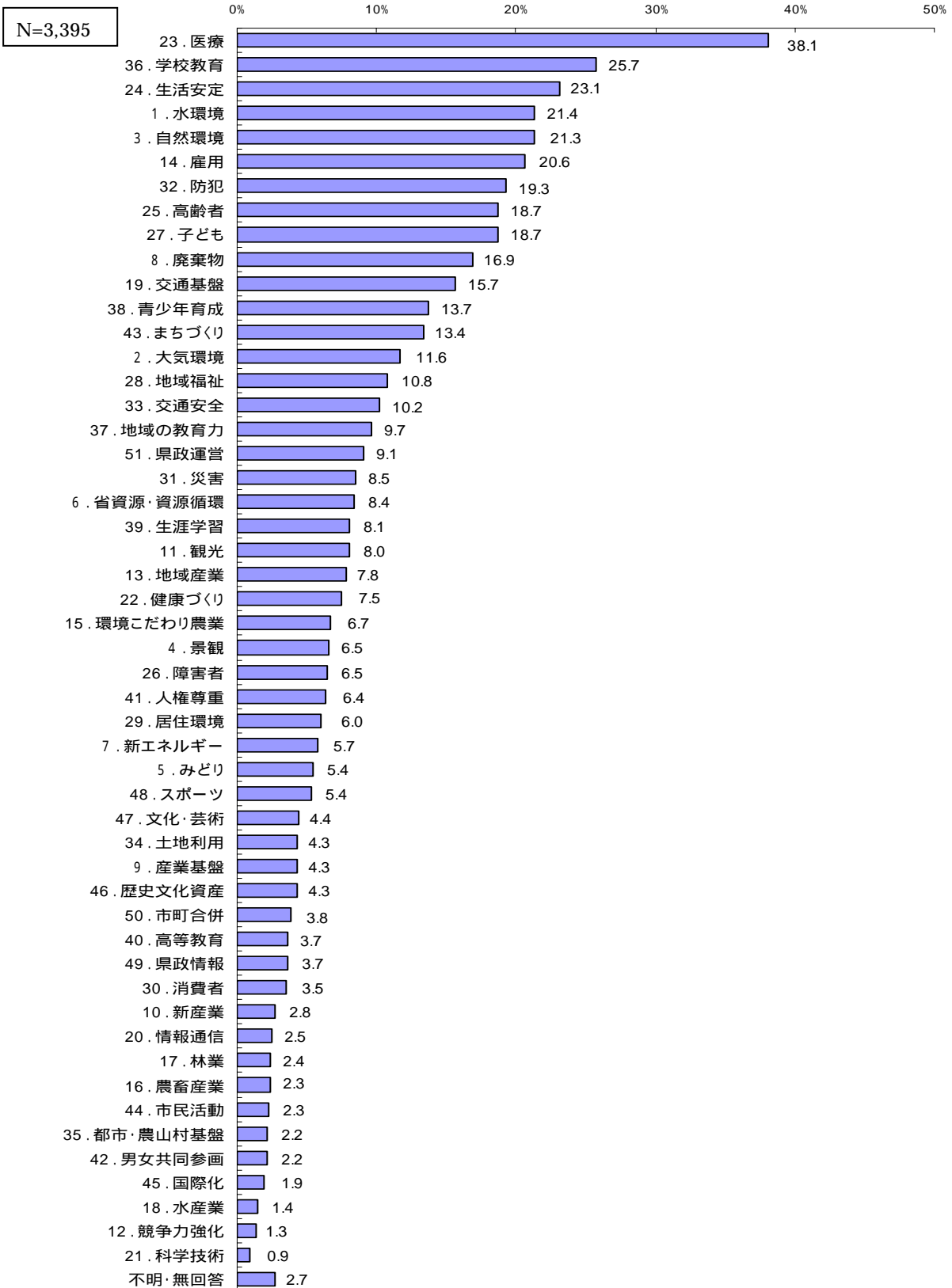


(4) 県政への要望

問8 あなたが、いま県の施策で力を入れてほしいと思うことはどんなことですか。前問の内容を参考に、1～51の中から5つまで選んでください。(は5つまで)

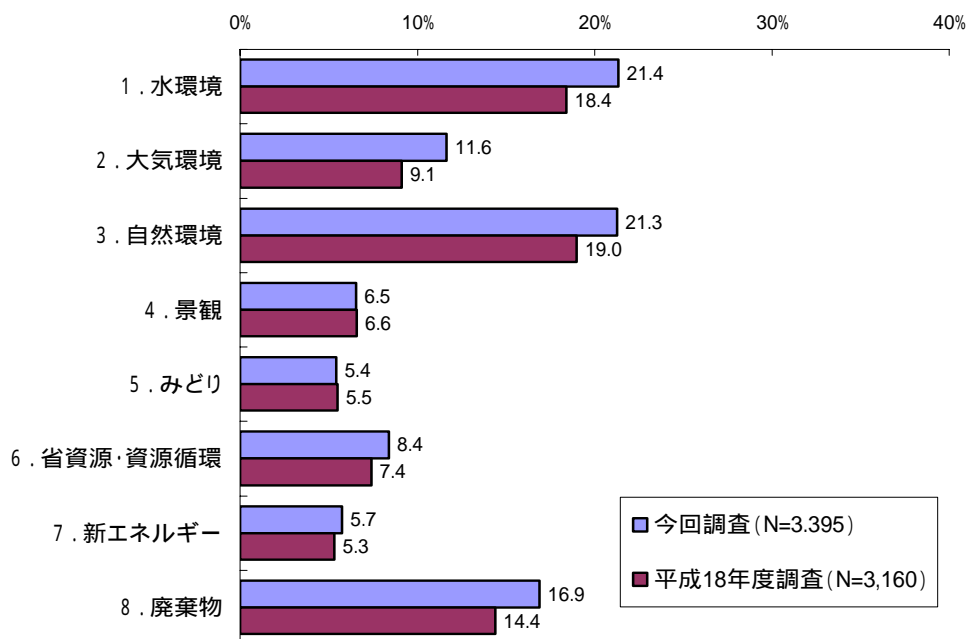
全体の順位

全体では、「医療」が38.1%と最も高く、次いで「学校教育」(25.7%)となっている。要望の多い10項目の内訳は、暮らしの分野から5項目、環境の分野から3項目、産業・経済、教育の分野からそれぞれ1項目となっている。



環境分野における要望

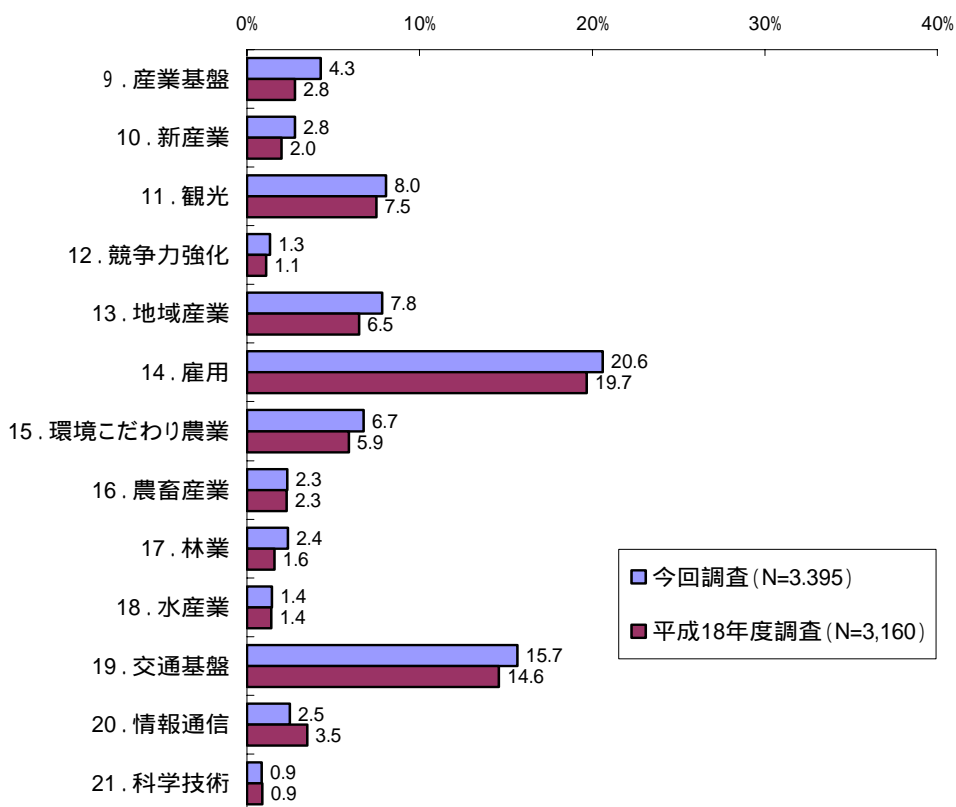
環境分野では、「水環境」が最も多く 21.4%、僅差で「自然環境」の 21.3%となっている。平成 18 年度調査と比較すると、「景観」、「みどり」を除くすべての項目で高くなっている。



産業・経済分野における要望

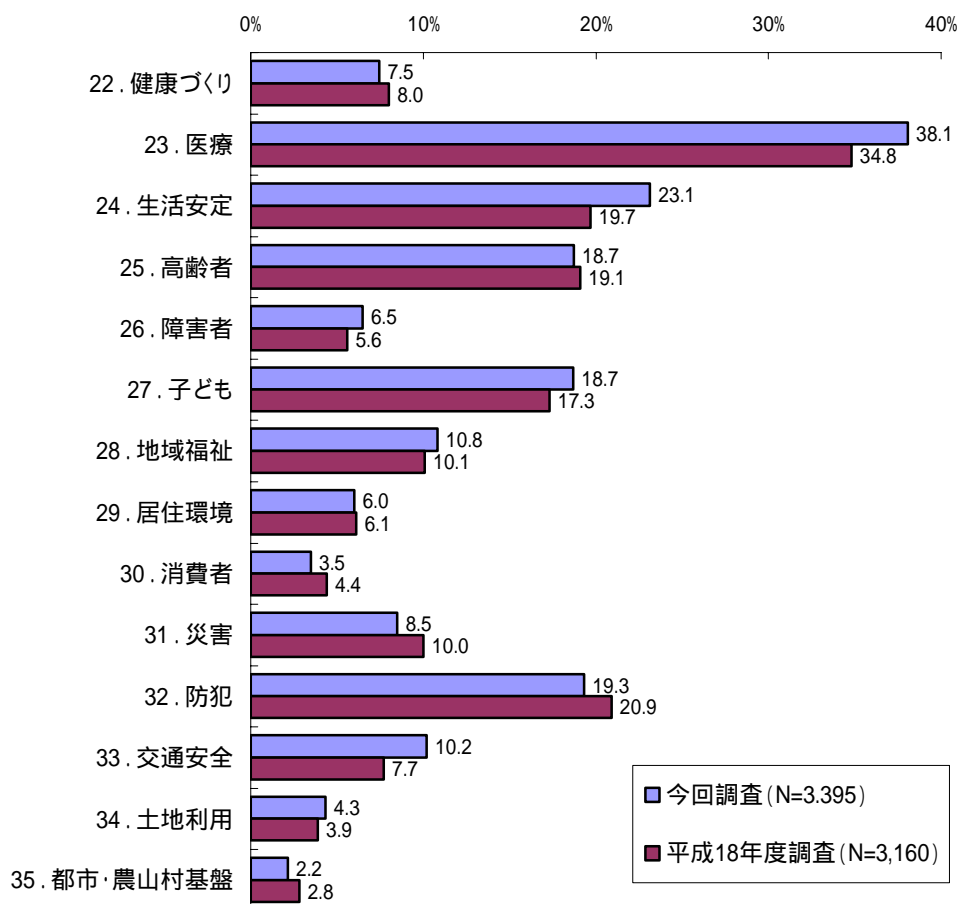
産業・経済分野では、「雇用」が 20.6%と最も高く、次いで「交通基盤」が 15.7%となっている。

平成 18 年度調査と比較すると、「農畜産業」、「水産業」、「情報通信」、「科学技術」を除くいずれの項目においても高くなっている。



暮らしの分野の要望

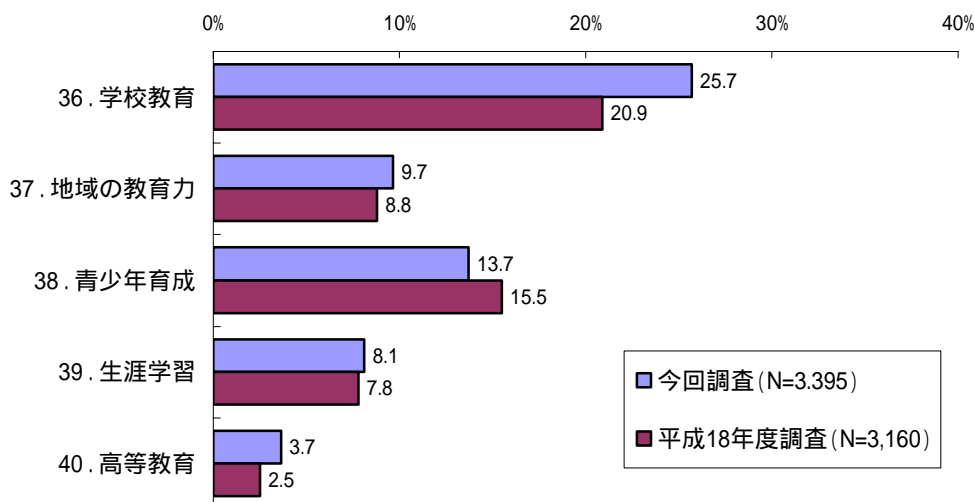
暮らしの分野では、「医療」が38.1%と最も高く、次いで「生活安定」が23.1%となっている。平成18年度調査と比較すると、「医療」では3.3ポイント、「生活安定」では3.4ポイント高くなっており、他に「子ども」、「交通安全」などが高くなっている。



教育分野の要望

教育分野では、「学校教育」が25.7%と最も高く、次いで「青少年育成」が13.7%と続いている。

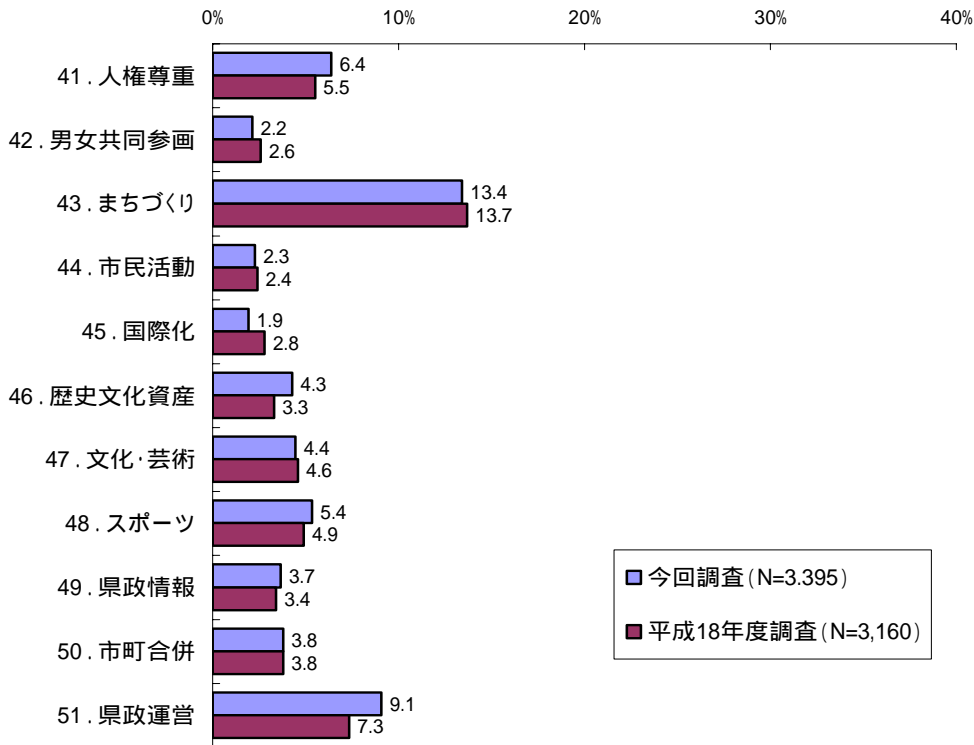
平成18年度調査と比較すると、「青少年育成」を除くすべての項目において高くなっており、「学校教育」では4.8ポイント高くなっている。



自治・文化の分野の要望

自治・文化の分野では、「まちづくり」が最も高く13.4%、次いで「県政運営」が9.1%と続いている。

平成18年度調査と比較すると、全体的にあまり大きな差は見受けられないが、「県政運営」が1.8ポイント高くなっている。



【地域別】

いずれの地域においても「医療」が1位となっており、2位については大津地域では「水環境」、湖南・甲賀地域では「自然環境」、東近江・湖東・湖西地域においては「学校教育」、湖北地域では「生活安定」となっている。

また、甲賀地域では「高齢者」、湖西地域では「交通基盤」がそれぞれ5位に入っている。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (N=3,395)	23. 医療 38.1%	36. 学校教育 25.7%	24. 生活安定 23.1%	1. 水環境 21.4%	3. 自然環境 21.3%
大津地域 (N=816)	23. 医療 32.4%	1. 水環境 26.5%	36. 学校教育 25.0%	32. 防犯 24.3%	24. 生活安定 24.0%
湖南地域 (N=736)	23. 医療 35.1%	3. 自然環境 24.5%	1. 水環境 23.9%	36. 学校教育 23.1%	24. 生活安定 22.0%
甲賀地域 (N=276)	23. 医療 35.5%	3. 自然環境 26.1%	24. 生活安定 23.9%	36. 学校教育 22.5%	25. 高齢者 21.0%
東近江地域 (N=640)	23. 医療 40.3%	36. 学校教育 25.9%	24. 生活安定 22.8%	14. 雇用 20.3%	1. 水環境 20.0%
湖東地域 (N=364)	23. 医療 46.2%	36. 学校教育 30.2%	14. 雇用 28.0%	24. 生活安定 20.3%	3. 自然環境 17.6%
湖北地域 (N=404)	23. 医療 38.6%	24. 生活安定 29.2%	36. 学校教育 28.2%	27. 子ども 23.3%	32. 防犯 22.3%
湖西地域 (N=158)	23. 医療 57.0%	36. 学校教育 29.7%	27. 子ども 26.6%	14. 雇用 25.9%	19. 交通基盤 21.5%

【性別】

男女ともに、「医療」、「学校教育」の順となっており、女性のほうがそれぞれ 11.6 ポイント、5.7 ポイント高くなっている。男性では「水環境」、女性では「生活安定」がそれぞれ 3 位に入っている。

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男性 (N=1,643)	23. 医療	36. 学校教育	1. 水環境	32. 防犯	24. 生活安定
	32.1%	23.3%	22.2%	20.1%	19.8%
女性 (N=1,669)	23. 医療	36. 学校教育	24. 生活安定	3. 自然環境	27. 子ども
	43.7%	29.0%	25.8%	23.1%	22.9%

【性・年代別】

男女ともに 40 歳代～70 歳代は「医療」が 1 位となっている。男性では 20 歳代が「自然環境」、30 歳代では「子ども」がそれぞれ 1 位となっており、女性では 20 歳代が「医療」、30 歳代では「子ども」が 1 位となっている。

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男性	20歳代 (N=131)	3. 自然環境	1. 水環境	14. 雇用 / 24. 生活安定		23. 医療
		29.0%	26.0%	24.4%		22.9%
	30歳代 (N=299)	27. 子ども	23. 医療	19. 交通基盤	32. 防犯	36. 学校教育
		34.4%	32.1%	25.1%	22.7%	22.4%
	40歳代 (N=307)	23. 医療	36. 学校教育	32. 防犯	14. 雇用	1. 水環境
		32.9%	27.4%	24.4%	23.8%	20.8%
女性	50歳代 (N=439)	23. 医療	14. 雇用	24. 生活安定 / 36. 学校教育		8. 廃棄物
		34.6%	23.7%	21.4%		21.2%
	60歳代 (N=319)	23. 医療	38. 青少年育成	8. 廃棄物 / 25. 高齢者		1. 水環境
		28.8%	25.4%	24.1%		23.8%
	70歳以上 (N=146)	23. 医療	36. 学校教育	1. 水環境 / 25. 高齢者		24. 生活安定
		37.0%	26.0%	24.7%		19.2%
女性	20歳代 (N=97)	23. 医療	36. 学校教育	14. 雇用	1. 水環境	3. 自然環境
		42.3%	35.1%	33.0%	30.9%	28.9%
	30歳代 (N=353)	27. 子ども	23. 医療	36. 学校教育	32. 防犯	1. 水環境
		56.9%	45.0%	36.3%	24.9%	24.1%
	40歳代 (N=378)	23. 医療	36. 学校教育	24. 生活安定	14. 雇用	27. 子ども
		43.7%	43.1%	25.1%	24.9%	23.5%
女性	50歳代 (N=464)	23. 医療	14. 雇用	24. 生活安定	25. 高齢者	3. 自然環境
		42.9%	29.3%	27.8%	25.2%	24.4%
	60歳代 (N=249)	23. 医療	24. 生活安定	25. 高齢者	3. 自然環境	1. 水環境
		43.0%	29.3%	28.5%	24.1%	23.3%
	70歳以上 (N=126)	23. 医療	25. 高齢者	24. 生活安定	3. 自然環境	36. 学校教育
		44.4%	36.5%	23.8%	22.2%	20.6%

【定住意向別】

「住みつづけたい」、「住みつづけたいとは思わない」、「どちらともいえない」と回答した人では、いずれも「医療」が 1 位となっている。「住みつづけたい」では 2 位が「学校教育」(26.4%)、次いで「生活安定」(22.6%)となっている。「住みつづけたいとは思わない」では「交通基盤」(31.9%)、「生活安定」(29.7%)と続いている。「どちらともいえない」では、2 位が「生活安定」(24.4%)、3 位が「学校教育」(23.5%)と続いている。

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
住みつづけたい (N=2,566)	23 . 医療	36 . 学校教育	24 . 生活安定	1 . 水環境	3 . 自然環境
	37.8%	26.4%	22.6%	22.3%	22.2%
住みつづけたい とは思わない (N=91)	23 . 医療	19 . 交通基盤	24 . 生活安定	36 . 学校教育	3 . 自然環境
	48.4%	31.9%	29.7%	25.3%	22.0%
どちらとも いえない (N=673)	23 . 医療	24 . 生活安定	36 . 学校教育	27 . 子ども	19 . 交通基盤
	37.3%	24.4%	23.5%	22.3%	22.1%